

日常のメンテナンス

日常のメンテナンスの目的は「汚れる前に汚れを取る」ことにあります。
定期清掃でつくられたワックス被膜で土砂やホコリを除去し、長持ちさせる作業です。

- ① 掃除機・ダストモップなどでホコリ・チリ・土砂などを除去してください。[図1]
- ② クリーナーM-200C(水希釈液)で汚れを除去してください。[図2]
- ③ 固く絞ったモップなどで2~3回水拭き清掃をしてください。[図4]

● 厨房・トイレなどのメンテナンス(アルトロセーフティーフロア)

床面が水で濡れている場合などは、速やかにゴムレイキなどを用いて水を取り除いてください。[図5]
水を切った後、固く絞ったモップなどで2~3回水拭き清掃をしてください。[図4]

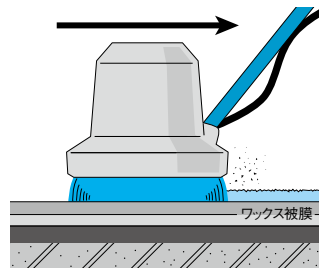
※水を使用する箇所へのワックス塗布は避けてください。ワックス被膜に汚れが堆積したり、床材の防滑機能を著しく損なう原因となります。

定期的なメンテナンス

表面洗浄

ワックス被膜の上に付いたヒールマークや細かな傷を取り除き、きれいにしたワックス被膜の上に再度ワックスを塗布して再生する作業です。

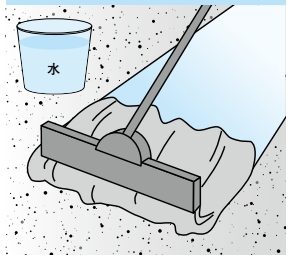
- ① 掃除機・ダストモップなどでホコリ・チリ・土砂などを除去してください。[図1]
- ② クリーナーM-200C(水希釈液)をモップなどで塗布してください。[図2]
- ③ 青パッドを装着したポリッシャーで洗浄した後[図6]、汚水を除去してください。[図5]
※インプレッションコンフィをポリッシングする際は赤パッドを装着してください。
- ④ 床面が乾く前に水拭き専用モップを固く絞り、十分に水拭きを行なってください。[図4]
- ⑤ 床面が乾燥後、ワックスモップにワックスM-100Wがわずかに垂れる程度に浸し、ムラなく塗布してください。[図3]
- ⑥ 1~2回必要に応じて塗り重ねてください。その際、必ず乾燥してから塗り重ねてください。[図3]



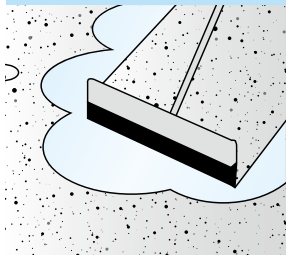
[図3] ワックス塗布



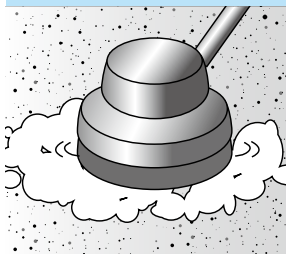
[図4] モップによる水拭き



[図5] レイキによる水切り



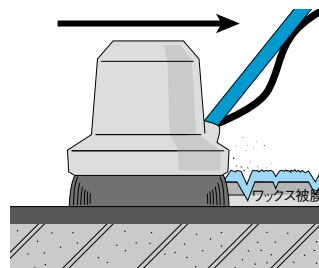
[図6] ポリッシャー洗浄



剥離洗浄

汚れがこびりついたワックス被膜が劣化したり、汚れがワックス被膜に深く浸透してしまっても表面洗浄では取り除けない時に、既存のワックス被膜全体を除去し、新しいワックス被膜を塗布する作業です。

- ① 掃除機・ダストモップなどでホコリ・チリ・土砂などを除去してください。[図1]
- ② リムーバーM-300R(水希釈液)をモップなどで塗布してください。[図2]
- ③ 剥離用の茶パッドもしくは黒パッドを装着したポリッシャーで剥離した後[図6]、速やかに汚水を除去してください。[図5]
- ④ 乾燥後ワックスM-100Wを塗布してください。[図3]
1回目のワックスが十分乾燥したら2回目を塗り重ねます。ワックスの塗布回数は3回程度を目安とします。



標準的なメンテナンスサイクル

		重歩行	中歩行
日常のメンテナンス		2~3回/日	1~2回/日
定期的なメンテナンス	表面洗浄	1回/2週間	1回/3~4週間
	剥離洗浄	1回/半年	1回/年